事務事業評価シート　令和 6 年度事後評価・決算

令和 7 年 11 月 1 日

事業コード・事務事業名	42600①	スポーツ振興事業（各種スポーツイベント）（競技団体への支援）
施策体系 基本施策	6	スポーツの振興
施策体系 施策の展開	14	スポーツ活動の充実
施策体系 戦略事業名	64	スポーツ振興事業（各種スポーツイベント）

予算科目	会計	款	項	目
	一般	10	5	1
所管課	スポーツ振興課			
担当班	スポーツ振興班			
開始年度	不詳			
根拠法令	旭市スポーツ振興事業補助金交付要領			

掲載計画等
- ☑ 総合戦略
- ☐ 国土強靱化地域計画
- ☐ 新市建設計画
- ☑ 定住自立圏共生ビジョン
- ☐ 過疎地域持続的発展計画
- ☐ R6主要事業

（1）事務事業の概要 ※行政用語は使わず、簡潔に、市民にわかりやすく説明する

① 事務事業の内容（何をする事務事業なのか）

1. 競技団体への支援
①スポーツ協会、②スポーツ少年団の各種競技団体が行うスポーツ活動を支援するため、運営費に対して補助金を交付する。
2. 各種スポーツイベントの運営補助
①市民がスポーツを通じて交流を広げ、心身の健康と生きがいづくりを増進するため、誰でも気軽に参加できるスポーツイベントやスポーツ大会を開催する団体等に補助金を交付する。
②スポーツ大会を通して市のPRを行える大会等に対して補助金を交付する。

② 開始の経緯（なぜこの事務事業を始めたのか）

・各団体、実行委員会等が、スポーツを通じて市民の一体感を醸成するため、各種スポーツイベントやスポーツ大会を開催。

③ 環境の変化・課題・意見等（現状で問題などはあるか）

・市民体育祭は発展的解消（廃止）とし、誰もが自由に、気軽に参加できる新規イベント「あさひスポーツフェスティバル」を令和4年度に立ち上げた。今後は市民のスポーツ実施率向上に寄与すべく、より一層のイベント内容の充実と周知が必要。

④ 事務事業の目的と位置付け（何を目指しているのか）

事業活動	提供するモノやサービス	成果	施策の展開	基本施策	基本目標
・競技団体への支援 ・各種スポーツイベントの運営補助	・旭市スポーツ協会及び旭市スポーツ少年団へ補助金を交付 ・あさひスポーツフェスティバルや旭市民駅伝大会への補助金の交付及び大会運営	市民のスポーツ活動を促進し、健康増進とスポーツ実施率の向上を図る。	スポーツ活動の充実	スポーツの振興	結婚・出産・子育ての希望がかない、誰もが生きがいを持てるまちづくり

（2）活動と成果の状況

① R6の主な活動や実績

【競技団体への支援】
・旭市スポーツ協会及び旭市スポーツ少年団へ補助金（運営費）交付。

【各種スポーツイベントの運営補助】
・旭市民駅伝大会、世界ユース卓球選手権大会日本代表選考会、パラ卓球ナショナルチーム合宿、あさひスポーツフェスティバルへの補助金交付。

② 活動指標

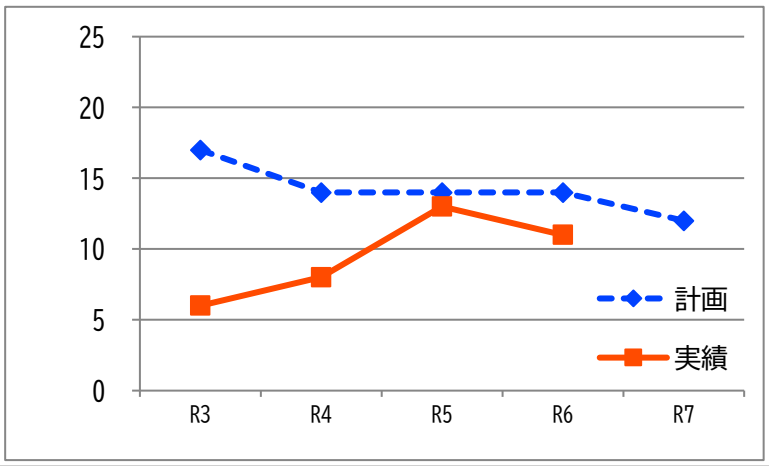
	活動指標	単位		R3	R4	R5	R6	R7
ア	補助金（運営費）交付団体数	団体	計画	3	2	2	2	2
			実績	2	2	2	2	
イ	スポーツイベント・大会開催数	回	計画	9	7	7	7	6
			実績	1	5	7	7	

③ 成果指標

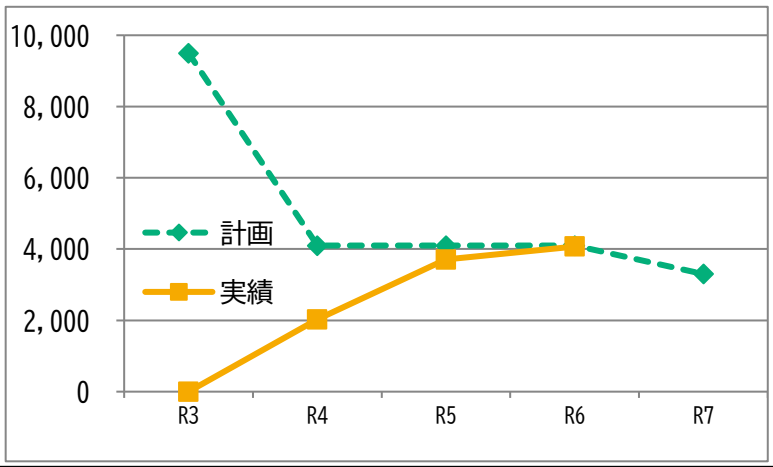
	成果指標	方向性	単位		R3	R4	R5	R6	R7
ア	補助金交付団体が参加・主催・後援等するスポーツイベント・大会数	増やす	回	計画	17	14	14	14	12
				実績	6	8	13	11	
イ	主要スポーツ大会（あさひスポーツフェスティバル※R3までは市民体育祭、市民駅伝大会、市民スポーツ大会）の参加者数　＝KPI	増やす	人	計画	9,500	4,100	4,100	4,100	3,300
				実績	0	2,030	3,711	4,071	

④成果指標の動向

指標ア　補助金交付団体が参加・主催・後援等するスポーツイベント・大会数



指標イ　主要スポーツ大会（あさひスポーツフェスティバル※R3までは市民体育祭、市民駅伝大会、市民スポーツ大会）の参加者数　＝KPI



(3)コストの状況

（単位:千円）

① 事務事業費		R3決算	R4決算	R5決算	R6決算	R7予算
費目内訳	1. 市民体育祭補助金		－			
	2. 市スポーツ協会補助金	2,189	2,389	2,389	2,389	2,419
	3. 市民駅伝大会補助金		1,873	1,873	1,873	0
	4. スポーツ大会招致・開催補助金	1,603	2,500	1,985	2,819	2,500
	5. あさひスポーツフェスティバル開催補助金	－	2,834	3,279	3,391	3,350
	合計	3,792	9,596	9,526	10,472	8,269
財源内訳	国・県支出金					
	地方債					
	その他	612	7,207	7,100	8,083	5,850
	一般財源	3,180	2,389	2,426	2,389	2,419
	一般財源の比率	**83.9%**	**24.9%**	**25.5%**	**22.8%**	**29.3%**

② 従事職員数

常時	4	人						
最大	31	人	×	1	日	=	延べ	31 人

③ 各費目の詳細(R6決算)

1.市民体育祭補助金	
2.市スポーツ協会補助金	市スポーツ協会補助金
3.市民駅伝大会補助金	旭市民駅伝大会
4.スポーツ大会招致・開催補助金	世界ユース卓球選手権大会日本代表選考会、パラ卓球合宿
5.あさひスポーツフェスティバル開催補助金	あさひスポーツフェスティバル

④ 特定財源の詳細(R6決算)

国・県支出金	
地方債	
その他	地域振興基金

⑤ R5→R6　増減理由

【スポーツ大会招致・開催補助金】
　世界ユース卓球選手権大会日本代表選考会の開催日数が３日から４日となり、宿泊費や役員報酬が増加したため。

(4)事務事業に関する評価

		判定	分析(好不調の要因や対策について)
① 事務事業の進捗		**順調**	各競技団体及び各種スポーツイベント実施団体等へ滞りなく補助金を交付することにより、スポーツ活動の支援をすることができた。
② 成果指標の推移（R5→R6）	指標ア	**低下**	スポーツ少年団の各種交流大会において、開催中止となった大会があった。
	指標イ	**好調維持**	各団体が活発に活動し、市民スポーツ大会への参加者が増加した。

③ 今後の方向性（①・②を踏まえたR7以降の方針）	判定	方針	判定・方針の詳細
	継続実施		事業を継続実施することにより、市民のスポーツ活動の促進を図る。また、市民が気軽に参加できるスポーツイベント等を開催し、市民の健康増進及びスポーツを通じた市民の一体感の醸成を図る。

事務事業評価シート　令和 6 年度事後評価・決算

令和 7 年 11 月 1 日

事業コード・事務事業名	42600②	スポーツ振興事業（しおさいマラソン）（日独交流事業）

施策体系			
基本施策	16	交流の促進
施策の展開	32	交流事業の促進
戦略事業名	148	スポーツ振興事業

予算科目	会計	款	項	目
	一般	10	5	1
所管課	体育振興課			
担当班	体育振興班			
開始年度	平成元年度			
根拠法令	旭市補助金等交付規則ほか			

掲載計画等
- ☑ 総合戦略
- ☐ 国土強靱化地域計画
- ☐ 新市建設計画
- ☑ 定住自立圏共生ビジョン
- ☐ 過疎地域持続的発展計画
- ☐ R6主要事業

（1）事務事業の概要 ※行政用語は使わず、簡潔に、市民にわかりやすく説明する

① 事務事業の内容（何をする事務事業なのか）

【しおさいマラソン】平成元年度～・市民ランナーによるマラソン大会の開催。≪実施団体≫旭市スポーツ協会主催、旭市・旭市教育委員会共催、旭市飯岡しおさいマラソン大会実行委員会主管≪実施時期≫2月第1日曜日≪開催種目≫2km（親子の部）、3km（小学生）、5km（中学生・一般）、ハーフマラソン（一般）≪会場≫しおさいスタジアム（旭市サッカー場）≪コース≫市内海岸通り（県道30号）
【日独交流事業】千葉県とドイツ・デュッセルドルフ市との卓球交流事業で、相互往来によるスポーツ交流を実施している。隔年で来県しているが、来県時には旭市を会場として開催し、スポーツや文化など様々な分野でのコミュニケーションを図る。

② 開始の経緯（なぜこの事務事業を始めたのか）

【しおさいマラソン】平成元年に旧飯岡町で町民の健康増進、地域の活性化のために始まった。
【日独交流事業】平成21年度から旭市を会場として開催。ドイツ・デュッセルドルフ市との卓球交流事業を通じて、国際社会で活躍できる人材を育成し、国際人の育成と競技力向上を目指す。

③ 環境の変化・課題・意見等（現状で問題などはあるか）

【しおさいマラソン】飯岡地域のみで開催していたが、市町村合併及び震災により、飯岡地域、旭地域を走るコースへ平成23年度に変更したが、本大会への考え方や取り組みに地域の温度差がある。また、旭市スポーツ協会の事業であるが、実行委員会事務局をスポーツ振興課で行っており、市職員の負担が増加している。参加者からは、地域のボランティアの温かさを感じる良い大会であるという意見が多いが、参加者数は平成27年度をピークに減少傾向にある。同時期のマラソン大会が全国的に多数開催される中、集客が課題である。ポスターやチラシだけでなく、HPやSNSを使用した情報発信等が必要である。

④ 事務事業の目的と位置付け（何を目指しているのか）

事業活動	提供するモノやサービス	成果	施策の展開	基本施策	基本目標
・旭市飯岡しおさいマラソン大会 ・日独交流事業	・市民及び全国のマラソン愛好者を対象に市民マラソン大会を開催する。 ・ドイツ・デュッセルドルフ市との卓球交流を実施する。	・マラソン大会の開催により、地域の魅力をPRし、全国のマラソン愛好者による交流を促進する。 ・ドイツ・デュッセルドルフ市との交流通じて国際社会への理解を深める。	交流事業の促進	交流の促進	ひとの定着・還流・移住の流れをつくり、人々が集うまちづくり

（2）活動と成果の状況

① R6の主な活動や実績

【旭市飯岡しおさいマラソン大会】
令和6年10月1日～11月29日まで参加者募集を行い、令和7年2月2日に大会を開催した。

【日独交流事業】
隔年開催の事業のため、R6は実施していない。

② 活動指標

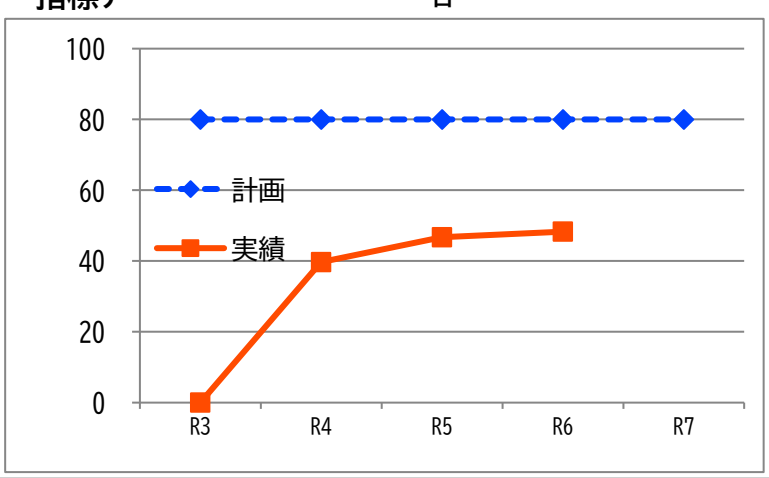
	活動指標	単位		R3	R4	R5	R6	R7
ア	（しおさいマラソン）ポスター・チラシ・募集要領・プログラムの作成・配布部数	枚	計画	17,400	16,800	13,700	10,820	11,300
			実績	0	13,700	10,820	11,300	
イ	（日独交流事業）交流日数	日	計画	7	7	6	0	6
			実績	0	0	6	0	

③ 成果指標

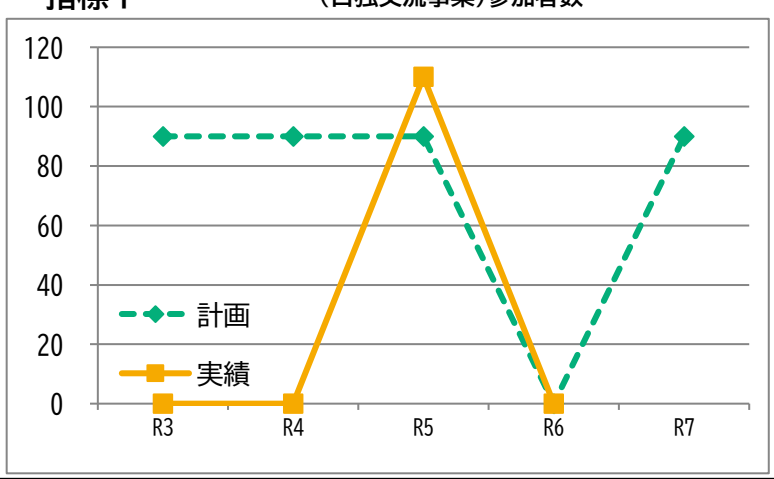
	成果指標	方向性	単位		R3	R4	R5	R6	R7
ア	（しおさいマラソン）参加者定員に対する申込者数の割合	増やす	%	計画	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0
				実績	0.0	39.7	46.7	48.3	
イ	（日独交流事業）参加者数	増やす	人	計画	90	90	90	0	90
				実績	0	0	110	0	

④成果指標の動向

指標ア　（しおさいマラソン）参加者定員に対する申込者数の割合



指標イ　（日独交流事業）参加者数



(3)コストの状況

（単位:千円）

① 事務事業費		R3決算	R4決算	R5決算	R6決算	R7予算
費目内訳	1. 飯岡しおさいマラソン大会補助金	922	8,000	6,791	7,374	7,440
	2. 日独交流事業開催補助金			500		300
	合計	922	8,000	7,291	7,374	7,740
財源内訳	国・県支出金					
	地方債					
	その他	922	8,000	6,335	7,374	7,440
	一般財源	0	0	956	0	300
	一般財源の比率	0.0%	0.0%	13.1%	0.0%	3.9%

② 従事職員数

常時	3	人						
最大	152	人	×	1	日	=	延べ	152 人

③ 各費目の詳細(R6決算)	
1.飯岡しおさいマラソン大会補助金	旭市飯岡しおさいマラソン大会への補助金
2.日独交流事業開催補助金	日独交流事業への補助金

④ 特定財源の詳細(R6決算)	
国・県支出金	
地方債	
その他	地域振興基金

⑤ R5→R6　増減理由

【飯岡しおさいマラソン大会補助金】
・前年比参加者増による参加料収入の増加により補助金返還が生じたため。
【日独交流事業開催補助金】
・令和6年度は実施なしのため。

(4)事務事業に関する評価

		判定	分析(好不調の要因や対策について)
① 事務事業の進捗		順調	【旭市飯岡しおさいマラソン大会】 令和5年度と比べて申込者数が増加した。(前年度比＋118人) 【日独交流事業】 令和6年度は実施なし。
② 成果指標の推移 (R5→R6)	指標ア	判定 向上	分析(変動の要因や対策について) 令和5年度から復活したイチゴのロードサービスや豚汁・お汁粉の無料配布のおもてなし、お囃子、トランペット隊の応援演奏、ゲストランナーも大会を盛り上げ、活気ある大会になった。
	指標イ	判定 好調維持	分析(変動の要因や対策について) 令和6年度は実施なし。

	判定	方針	判定・方針の詳細
③ 今後の方向性 (①・②を踏まえたR7以降の方針)	継続実施		【旭市飯岡しおさいマラソン大会】 ・大会参加申込組数が3,000組を目標としており、コロナ禍以降参加者は増加傾向だが目標には届いていない。今後もおもてなし拡充などの大会の魅力アップを図り、さらなる参加者増につなげていきたい。

事務事業評価シート　令和 6 年度事後評価・決算

令和 7 年 11 月 1 日

事業コード・事務事業名	42750	スポーツ施設管理運営費

施策体系			
基本施策	6	スポーツの振興
施策の展開	15	スポーツ施設の維持管理
戦略事業名	999	総合戦略に記載は無いが施策の展開にぶら下がる事業

予算科目	会計	款	項	目
	一般	10	5	2
所管課	スポーツ振興課			
担当班	スポーツ振興班			
開始年度	令和5年度			
根拠法令	旭市社会体育施設の設置及び管理に関する条例			

掲載計画等
- ☐ 総合戦略
- ☐ 国土強靱化地域計画
- ☐ 新市建設計画
- ☐ 定住自立圏共生ビジョン
- ☐ 過疎地域持続的発展計画
- ☑ R6主要事業

(1)事務事業の概要 ※行政用語は使わず、簡潔に、市民にわかりやすく説明する

① 事務事業の内容(何をする事務事業なのか)

社会体育施設(12施設)の運営管理を民間事業者に委託することで、民間事業者が保有するノウハウを活用した施設の運営管理が可能となり、市民サービス及び施設利用者の向上、効率的な施設の維持管理を図る。また、その他スポーツ施設(弓道場、スポーツ広場等)は引き続き市で運営管理を行う。

【社会体育施設(12施設)】
旭市総合体育館、飯岡体育館、旭スポーツの森公園野球場、海上コミュニティ運動公園野球場、飯岡野球場、干潟さくら台野球場、旭スポーツの森公園庭球場、旭文化の杜公園庭球場、旭市サッカー場(しおさいスタジアム)、いいおかふれあいスポーツ公園サッカー場・ソフトボール場・多目的広場
【その他スポーツ施設】
旭市弓道場、仁玉コミュニティ広場、新川スポーツ広場
(※仁玉スポーツ広場は令和5年4月廃止)

② 開始の経緯(なぜこの事務事業を始めたのか)

令和5年度から社会体育施設(12施設)の運営管理を民間事業者へ委託したことに伴い、スポーツ施設管理運営費を新設し、従前の社会体育施設管理費、総合体育館管理費、コミュニティ広場管理費、健康づくり運動推進事業を統合した。

③ 環境の変化・課題・意見等(現状で問題などはあるか)

・指定管理者募集時に提案された各種スポーツ教室や新規サービス等に未実施のものが多いため、今後実施してもらうように指導が必要である。
・施設の維持管理において燃料費、光熱水費、各種物価が高騰しており、コスト縮減・効率的な施設運営を検討・実施していく必要がある。
・施設の老朽化に伴い、個別施設計画に基づく施設の長寿命化や類似施設の廃止・統廃合を検討したうえで、緊急度に応じて修繕箇所を検討する必要がある。
・R5→R6と増加した利用者を減少させないように方策を検討する必要がある。
・利用者や活動内容が多様化しており、状況に合わせた対応が必要である。

④ 事務事業の目的と位置付け(何を目指しているのか)

事業活動	提供するモノやサービス	成果	施策の展開	基本施策	基本目標
スポーツ施設の良好な環境を整えるため、維持補修を行う。	スポーツ施設利用者が安全かつ快適に施設を利用できる。	スポーツ施設の利用促進が図られる。	スポーツ施設の維持管理	スポーツの振興	結婚・出産・子育ての希望がかない、誰もが生きがいを持てるまちづくり

(2)活動と成果の状況

① R6の主な活動や実績

【スポーツ施設の良好な環境を整えるため、維持補修を行う。】

①社会体育施設(12施設)
施設の管理運営を民間事業者に委託し、事業の開始2年目となった。
・自主事業による各種スポーツ教室の開催
・施設の予約受付、使用料徴収、貸出し
・施設の適正な維持管理
・施設修繕、備品購入等

②その他スポーツ施設
(修繕工事)
・旭市弓道場修繕工事
・旭市弓道場照明器具改修工事
(解体撤去工事)
・仁玉スポーツ広場解体撤去工事

② 活動指標

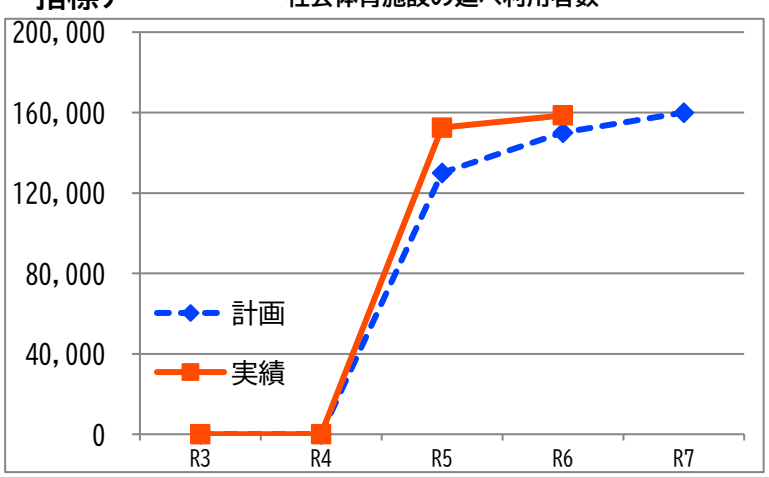
	活動指標	単位		R3	R4	R5	R6	R7
ア	使用料	千円	計画	－	－	23,836	24,431	25,000
			実績	－	－	21,445	24,369	
イ	修繕料	千円	計画	－	－	10,081	10,032	10,026
			実績	－	－	11,272	12,824	

③ 成果指標

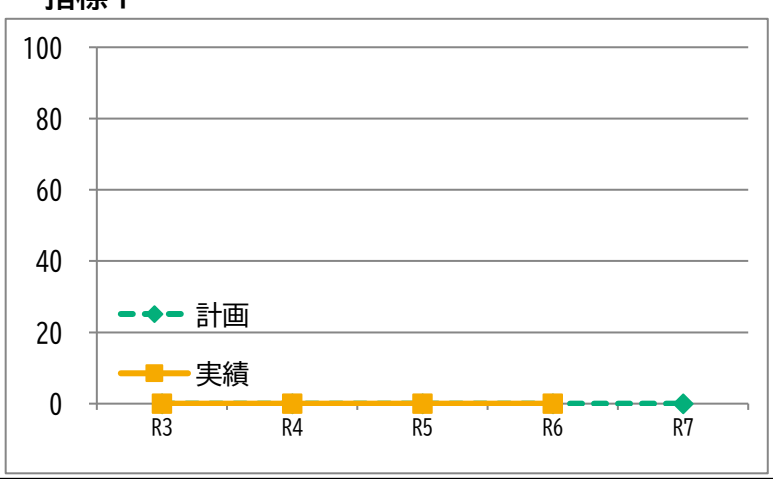
	成果指標	方向性	単位		R3	R4	R5	R6	R7
ア	社会体育施設の延べ利用者数	増やす	人	計画	－	－	130,000	150,000	160,000
				実績	－	－	152,490	158,575	
イ	-		-	計画	－	－	－		
				実績	－	－			

④成果指標の動向

指標ア　社会体育施設の延べ利用者数



指標イ　-



(3)コストの状況

（単位:千円）

① 事務事業費		R3決算	R4決算	R5決算	R6決算	R7予算
費目内訳	1. 需要費	－	－	1,929	864	1,303
	2. 役務費	－	－	680	654	723
	3. 委託料	－	－	120,727	125,712	129,432
	4. 使用料及び賃借料	－	－	2,619	2,620	2,516
	5. 工事請負費	－	－	300	2,430	1,298
	6. 原材料費	－	－	13	12	14
	7. その他	－	－	54	23	21
	合計	0	0	126,322	132,315	135,307
財源内訳	国・県支出金	－	－			
	地方債	－	－			
	その他	－	－	38	38	35
	一般財源	0	0	126,284	132,277	135,272
	一般財源の比率			100.0%	100.0%	100.0%

② 従事職員数

常時	3	人

最大		人	×		日	＝	延べ		人

③ 各費目の詳細(R6決算)

1.需要費	消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕料
2.役務費	手数料、保険料
3.委託料	公園維持管理委託料、指定管理料
4.使用料及び賃借料	下水道使用料、機械借上料、土地借上料等
5.工事請負費	いいおかふれあいスポーツ公園照明灯撤去工事　ほか1件
6.原材料費	野球場グラウンド整備用土砂
7.その他	負担金、自動車重量税等

④ 特定財源の詳細(R6決算)

国・県支出金	
地方債	
その他	使用料

⑤ R5→R6　増減理由

1.需用費については、R5で総合体育館メインアリーナの非常灯修繕を行っているため、大きく減少している。
5.工事請負費については、R6でいいおかふれあいスポーツ公園照明灯撤去工事・仁玉スポーツ広場の解体撤去工事を実施しているため、大きく増加している。

(4)事務事業に関する評価

	判定	分析(好不調の要因や対策について)
① 事務事業の進捗	順調	・令和5年度からスタートした社会体育施設(12施設)指定管理者制度の2年目となり、民間事業者のノウハウを活かした広報・プロモーションを積極的に行うことによって、指定管理者自主事業収入を増加させることができ、結果的に施設利用者数を増加させることができた。 ・その他スポーツ施設は弓道場の修繕、仁玉スポーツ広場の解体撤去工事、スポーツ広場の除草作業等を実施し、適正な施設の維持管理を行った。

② 成果指標の推移（R5→R6）		判定	分析(変動の要因や対策について)
	指標ア	好調維持	指定管理者制度の導入に伴う民間事業者のノウハウを活かした広報・プロモーションによって、R5 152,490人→R6 158,575人と施設利用者数を増加させることができた。 以降も利用者のニーズに応じて、必要な自主事業を指定管理者で検討・開催し、施設使用者のより一層の増加につなげていく。
	指標イ		

③ 今後の方向性（①・②を踏まえたR7以降の方針）	判定	方針	判定・方針の詳細
	継続実施		社会体育施設(12施設)は利用者のニーズに応じたスポーツ教室、イベントの開催及び新規サービスの提供等により更なる施設利用者の増加を図る。 その他スポーツ施設のうち弓道場は、個別施設計画に基づき計画的に修繕工事を行い、長寿命化を推進する。 スポーツ広場等は施設の利用状況を考慮し、今後の方向性を検討する。

事務事業評価シート　令和 6 年度事後評価・決算

令和 7 年 11 月 1 日

事業コード・事務事業名	43200	社会体育施設改修事業

施策体系			
基本施策	6	スポーツの振興
施策の展開	15	スポーツ施設の維持管理
戦略事業名	69	社会体育施設改修事業

予算科目	会計	款	項	目
	一般	10	5	2
所管課	スポーツ振興課			
担当班	スポーツ振興班			
開始年度	平成17年度			
根拠法令	旭市社会体育施設の設置及び管理に関する条例			

掲載計画等
- ☑ 総合戦略
- ☐ 国土強靱化地域計画
- ☐ 新市建設計画
- ☐ 定住自立圏共生ビジョン
- ☑ 過疎地域持続的発展計画
- ☐ R6主要事業

(1)事務事業の概要 ※行政用語は使わず、簡潔に、市民にわかりやすく説明する

① 事務事業の内容(何をする事務事業なのか)

旭市総合体育館、旭スポーツの森公園野球場、旭スポーツの森公園庭球場、旭市弓道場、旭文化の杜公園庭球場、海上コミュニティ運動公園野球場、飯岡体育館・野球場、いいおかふれあいスポーツ公園サッカー場・ソフトボール場・多目的広場、干潟さくら台野球場の各社会体育施設(12施設)の大規模な改修工事を行う。
【海上野球場は令和5年度廃止】

② 開始の経緯(なぜこの事務事業を始めたのか)

平成17年7月1日の1市3町の合併から、それぞれの市町で整備された社会体育施設の良好な管理運営をするための大規模改修事業が始まった。

③ 環境の変化・課題・意見等(現状で問題などはあるか)

・平成17年7月1日合併時の社会体育施設は17施設あったが、平成23年度に海上体育館及び海上庭球場が廃止、平成24年度に旭文化の杜公園庭球場が新設、平成30年度に飯岡児童体育館が廃止、令和3年度に旭市卓球場及び飯岡庭球場が廃止、令和4年度に干潟さくら台庭球場が廃止、令和5年度に海上野球場が廃止され、現在12施設の良好な管理運営をするための大規模改修事業を行っている。
・施設の老朽化に伴い、今後も改修工事の優先順位や類似施設の廃止(施設の統廃合)等の検討が必要である。

④ 事務事業の目的と位置付け(何を目指しているのか)

事業活動	提供するモノやサービス	成果	施策の展開	基本施策	基本目標
社会体育施設の維持・補修を行う	社会体育施設利用者が適正に管理された社会体育施設を利用する	社会体育施設利用者が安心・安全に施設を利用できるようになる	スポーツ施設の維持管理	スポーツの振興	結婚・出産・子育ての希望がかない、誰もが生きがいを持てるまちづくり

(2)活動と成果の状況

① R6の主な活動や実績

【社会体育施設の維持・補修を行う】
・飯岡体育館南面外壁改修工事

② 活動指標

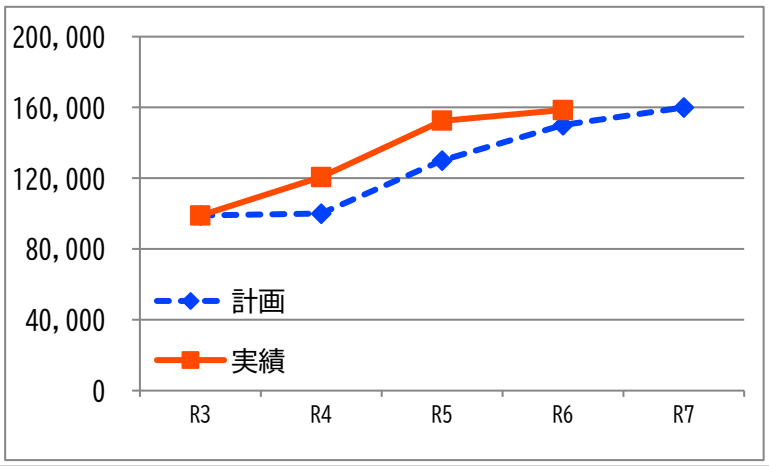
	活動指標	単位		R3	R4	R5	R6	R7
ア	改修工事を実施した箇所数	箇所	計画	3	1	4	1	6
			実績	4	2	4	1	
イ	設計・監理業務の委託数	件	計画	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	

③ 成果指標

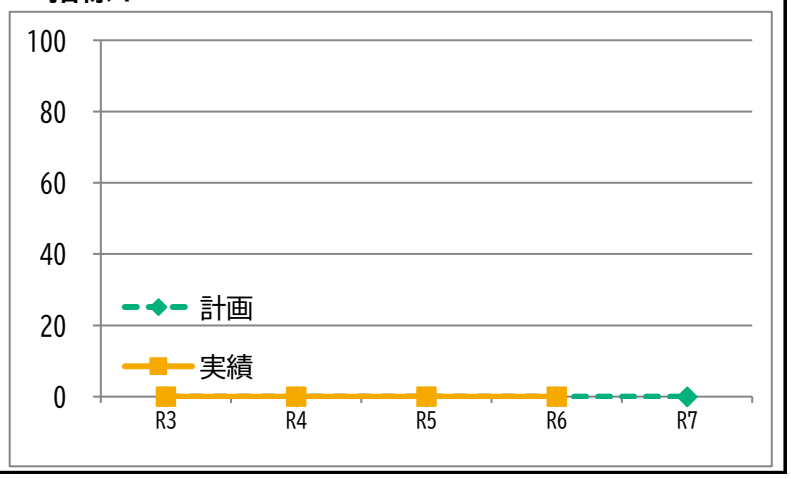
	成果指標	方向性	単位		R3	R4	R5	R6	R7
ア	社会体育施設の延べ利用者数	増やす	人	計画	98,960	100,000	130,000	150,000	160,000
				実績	98,900	120,682	152,490	158,575	
イ				計画					
				実績					

④成果指標の動向

指標ア　社会体育施設の延べ利用者数



指標イ



(3)コストの状況

（単位:千円）

① 事務事業費		R3決算	R4決算	R5決算	R6決算	R7予算
費目内訳	1. 野球場改修工事			8,333		
	2. 庭球場改修工事		24,184			
	3. 体育館改修工事	7,051		6,726	4,576	11,492
	4. 測量・設計委託料					
	5. 空調設備工事	13,607				
	6. 弓道場改修工事					2,498
	合計	20,658	24,184	15,059	4,576	13,990
財源内訳	国・県支出金					
	地方債	10,200	21,700			2,200
	その他			3,000		
	一般財源	10,458	2,484	12,059	4,576	11,790
	一般財源の比率	50.6%	10.3%	80.1%	100.0%	84.3%

② 従事職員数

常時	2	人						
最大		人	×		日	=	延べ	人

③ 各費目の詳細(R6決算)

1.野球場改修工事	
2.庭球場改修工事	
3.体育館改修工事	飯岡体育館南面外壁改修工事
4.測量・設計委託料	
5.空調設備工事	
6.弓道場改修工事	

④ 特定財源の詳細(R6決算)

国・県支出金	
地方債	
その他	

⑤ R5→R6　増減理由

【野球場改修工事】
いいおかふれあいスポーツ公園ソフトボール場グラウンド改修工事、旭スポーツの森公園野球場ほかスコアボード等改修工事が完了したことによる減少
【体育館改修工事】
R5に行った旭市総合体育館玄関屋根防水改修工事より、R6に行った飯岡体育館南面外壁改修工事のほうが金額が少ないことによる減少

(4)事務事業に関する評価

		判定	分析(好不調の要因や対策について)
① 事務事業の進捗		順調	個別施設計画に基づき、計画的に大規模改修工事を実施することにより、施設の長寿命化を推進している。
② 成果指標の推移（R5→R6）	指標ア	向上	指定管理者制度の導入に伴う民間事業者のノウハウを活かした広報・プロモーションによって、R5 152,490人→R6 158,575人と施設利用者数を増加させることができた。 施設の大規模補修を個別施設計画に基づき計画的に実施することで、施設利用者の利用満足度向上につながっている。
	指標イ		

	判定	方針	判定・方針の詳細
③ 今後の方向性（①・②を踏まえたR7以降の方針）	継続実施		個別施設計画に基づき、計画的に施設の大規模改修工事を行い、長寿命化を推進することで、引き続き施設利用者の利用満足度の向上につなげていく。